

2021（令和3）年度釧路市立博物館年報（2021年4月～2022年3月）

1. 所在地

北海道釧路市春湖台1番7号 電話0154-41-5809
Fax 0154-42-6000 museum@city.kushiro.lg.jp

『ショウウオ』照井 滋晴・野本 和宏 編著、2022年3月発行（A5版、36ページ）

『雄別炭砒閉山50年～雄別・尺別・上茶路～』石川 孝織 編著、2022年3月発行（A4版、170ページ）

2. 運営

(1) 職員（2022年3月1日現在）

館長	高嶋 晃治
学芸主幹（学芸員）	戸田 恭司 [歴史（地域史）]
館長補佐	花田 淳
館長補佐（学芸員）	石川 孝織 [産業・地質]
埋蔵文化財副主幹（学芸員）	高橋 勇人 [埋蔵文化財（保護・協議）]
学芸専門員（学芸員）	土屋 慶丞 [昆虫（地域昆虫相）]
学芸専門員（学芸員）	加藤 ゆき恵 [植物（植生・研究史）]
主査（学芸員）	野本 和宏 [魚・両生類（保全生態）]
主査（学芸員）	澤田 恭平 [考古（調査・整理）]
主査（学芸員）	貞國 利夫 [鳥・哺乳類（鳥類生態）]
主査（学芸員）	城石 梨奈 [アイヌ・歴史（地域史）]
主任	黒坂 之美子
主事（学芸員）	佐藤 加奈 [文化財]

(2) 予算（2021（令和3）年度予算現額）

文化財保護費	1,561千円
埋蔵文化財調査センター管理運営費	526千円
北斗遺跡施設管理費	5,764千円
博物館管理運営費	19,345千円
資料収集整備費	71千円
施設整備費	43,063千円
自然観察会等教育普及活動費	2,688千円
調査研究費	505千円
特別展「私の博物館」開催費	123千円
博物館常設展示更新事業費	1,813千円
博物館交流提携事業費	600千円
アイヌ政策推進交付金事業費	2,698千円
新型コロナウイルス感染症対応	
地方創生臨時交付金事業費	153千円

3. 刊行物

釧路市立博物館館報：1952年創刊、2022年3月にNo.429を発行（A4版、12ページ、年2回刊行）
釧路市立博物館紀要：1972年創刊、2022年3月に第40輯を発行（A4版、60ページ、年1回刊行）
『釧路市立博物館展示ガイドブック』2022年3月発行（A4版、88ページ）
『湿原の忍者SHINOBI BIRD こっそり暮らすクイナたち』貞國 利夫 編著、2021年11月発行（A5版、28ページ）
釧路市立博物館解説シリーズ『釧路湿原のキタサン

4. 助成・支援・賞を受けた事業・研究

- ・ アイヌ政策推進交付金：釧路市立博物館アイヌ文化展示コーナー強化事業
- ・ 令和3年度北海道博物館協会学芸職員部会学芸員活動支援助成

5. 学芸員の社会活動等

5-1. 外部委員等

〈石川孝織〉
全国石炭産業関連博物館等研修交流会 会長
鶴居村教育委員会 簡易軌道アドバイザー
鶴居村簡易軌道等活用構想策定検討委員会 委員
〈加藤ゆき恵〉
釧路湿原自然再生協議会 委員（湿原再生小委員会、森林再生小委員会）
植生学会運営委員、編集委員、将来検討委員
すげの会ホームページ担当幹事
モニタリングサイト1000 陸水域調査 湿原分科会委員、霧多布湿原サイト代表
北海道博物館協会学芸職員部会 役員
〈野本和宏〉
釧路国際ウェットランドセンター技術委員
釧路湿原自然再生協議会 委員（旧川復元小委員会、湿原再生小委員会、地域づくり小委員会）
〈澤田恭平〉
指定文化財管理（文化財パトロール）における文化財調査員
〈貞國利夫〉
釧路湿原自然再生協議会 委員（再生普及小委員会）
NPO 法人タンチョウ保護研究グループ運営委員
釧路総合振興局道営農業農村整備事業等環境情報協議会 委員
〈城石梨奈〉
北海道大学アイヌ・先住民研究センター 客員研究員
（公財）アイヌ民族文化財団「アイヌ生活文化再現マニュアル作成事業」企画委員
国立アイヌ民族博物館ネットワーク運営委員会 委員
アイヌ文化活動アドバイザー（アイヌ民族文化財団）
〈共通〉
九州大学比較社会文化研究院 共同研究員
（石川・土屋・加藤・野本・貞國）

5-2. 外部協力

〈戸田恭司〉

帯広百年記念館「写真から見る釧路のまちなみ」講演
〈石川孝織〉

台湾炭鉱博物館(新平溪煤礦博物園區)「煤記憶—
平溪鐵道百年暨煤礦文化特展(石炭の記憶—平溪
鐵道 100 年・炭鉱文化特別展)」講演(オンライン)
独立行政法人国際協力機構(JICA)北海道センター
映像資料「釧路 逆境から生まれた暮らし」制作
協力・出演

日本郵便(株)釧路地区連絡会「釧路～白糠開通120周年」
「根室本線全通 100 周年」「釧網本線 90 周年」
企画協力、小型印デザイン原案作成・監修、解説
執筆(2021～2022年)

日本郵便(株)北海道支社フレーム切手「根室本線を走った
車両たち～国鉄時代～」
「釧網本線全通 90 周年 湿原
と火山と」監修・解説執筆

くしろ長期滞在ビジネス研究会「釧網本線モニター
ツアー」協力

〈高橋勇人〉

科研費・基盤研究(B)「北方四島と千島列島における
人類活動史の考古学的研究」(課題番号:18H00748、
研究代表者:北海道博物館 右代啓視、2018-2021
年度)研究協力者

〈土屋慶丞〉

博物館実習受入 主務

〈加藤ゆき恵〉

別海町教育委員会「宮舞町湿原現地調査」協力
宮舞町湿原を大切に思う会 湿原勉強会「別海町 奇跡
の湿原～宮舞町湿原とムセンズゲ～」講師

NHK 釧路放送局「花咲沿線ぼっち旅 森があるんだ!
武佐駅に!!」出演

釧路アトリエアリス「植物勉強会」協力

霧多布湿原センター(共催行事)「ハーバリウム霧多布」
九州大学比較社会文化研究院 研究協力 主務

国立科学博物館 S-Net データ提供 主務

〈野本和宏〉

釧路湿原自然再生事業 調査協力

第 14 回「小さな自然再生」現地研修会 in 釧路
(主催:日本・河川流域再生ネットワークほか)講演
「釧路湿原を学ぼう～豊かな自然、そして自然再生
の取組～」(主催:釧路湿原自然再生協議会 再生
普及小委員会)講演

〈貞國利夫〉

釧路歯科医師会「研修会」講師

NPO 法人タンチョウ保護研究グループ「タンチョウ
捕獲調査」「タンチョウカウント調査」協力

釧路管内オジロワシ越冬調査 統括

〈城石梨奈〉

釧路アイヌ文化懇話会例会 講師

浦幌町立博物館 博物館講座 講師

北海道教育大学釧路校 非常勤講師「地域文化論Ⅲ
(アイヌ語・アイヌ文化)」

科研費・基盤研究(C)「近代日本におけるアイヌ民族
の〈社会への参画〉の歴史に関する基礎的研究」
(課題番号:20K00952、研究代表者:北海道
博物館 アイヌ民族文化研究センター 小川正人、
2020-2023 年度)研究協力者

〈共通〉

博物館実習受け入れ:全学芸員 2021 年度:5 名

市立北陽高校フィールド制授業講師:全学芸員

釧路新聞社「郷土博物誌」連載 執筆:全学芸員

北日本広告社 WEEKLY Fit PRESS「博物館学芸員の
とっておき話」連載・執筆:戸田・石川・土屋・加藤・
野本・貞國・城石

温根内ビジターセンター観察会 講師:加藤・貞國

春採湖調査会 協力:加藤・野本・貞國

国立科学博物館サイエンスミュージアムネット(S-Net)
標本情報データ提供:加藤・土屋

北海道立釧路芸術館企画展「花と樹の王国」コレク
ション・トーク「釧路のお宝・植物化石」トーク出演:
石川・加藤

おたのしげギャラリー「深谷榮樹～風景の素描～」
トーク出演:石川・加藤

科研費・学術変革領域研究(A)「ゆらぎの場としての
水循環システムの動態的解明による水共生学の創生」
(課題番号:JP21H05177、研究代表者:九州大学
荒谷邦雄、2021-2025 年度)研究分担者:石川・土屋・
加藤・野本・貞國

5-3. 出前授業講師(小学校～高専)

興津小:戸田・澤田/釧路小:土屋・加藤/城山小:
戸田・石川・澤田・貞國/共栄小・遠矢小・別保小:
澤田/附属義務教育学校前期課程:土屋・澤田/美
原中:城石/羅臼高校:土屋

5-4. 研究発表等

〈戸田恭司〉

戸田恭司(2021)「まちなみ散歩」を振り返って. 釧路
市立博物館館報, 428: 9-10.

戸田恭司(2022) 企画展「釧路のまちと人」の開催.
釧路市立博物館館報, 429: 3-6.

〈石川孝織〉

石川孝織(2021) 企画展「紙面で振り返る戦後・釧路
釧路新聞創刊 75 周年」. 釧路市立博物館館報,
429: 7-8.

石川孝織編著(2022)「雄別炭砒閉山 50 年～雄別・

尺別・上茶路～」釧路市立博物館。
 石川孝織 (2022) 「北海道の炭鉱と鉄道 石炭産業と北海道私鉄(炭鉱鉄道)の興亡」、昭和30年代～50年代の地方私鉄を歩く 第1巻、フォト・パブリッシング。
 菅原卓己・石川孝織 (2022) 「糸魚沢駅」、釧路臨港鉄道の会。
 〈土屋慶丞〉
 土屋慶丞 (2021) 交換される標本たち - オランダ植物防疫機関(NPPO-NL)との標本交換の記録-。釧路市立博物館館報, 428: 3-4。
 土屋慶丞 (2022) 飯島一雄氏寄贈 北海道東部産小蛾類標本目録(3) - 鱗翅目ミノガ科・スガ科・アトヒゲコガ科・クサモグリガ科・キヌバコガ科・ニセマイコガ科・カザリバガ科・ササベリガ科・シンクイガ科 -。釧路市立博物館紀要, 40: 47-50。
 〈加藤ゆき恵〉
 金子和広・富士田裕子・横地 穰・加藤ゆき恵・井上 京 (2021) 高解像度の数値地形モデルDTMと現地植生判別による根室半島大地上湿原の植生と地形の関係検証(口頭発表)。植生学会第26回大会。
 加藤ゆき恵 (2022) 別海町にてムセンズゲ *Carex livida* を確認。北方山草, 39: 92-93。
 〈野本和宏〉
 野本和宏 (2021) キタサンショウウオの現状と課題、保護に向けた取り組み。釧路市立博物館館報, 428: 7。
 野本和宏 (2022) 釧路川流域における魚類生息環境とサケ・マスを題材とする河川環境教育プログラムの実践。釧路国際ウェットランドセンター技術委員会調査報告書, pp.61-69。
 照井滋晴・野本和宏 (2022) 「釧路市立博物館解説シリーズ 釧路湿原のキタサンショウウオ」釧路市立博物館。
 野本和宏 (2021) 湿原の王者イトウ。あっちこっち湿地～自然と歴史をめぐる旅～ GUIDE BOOK, pp.36-37。北海道博物館。
 〈澤田恭平〉
 澤田恭平 (2021) まちなか企画展「くしろの文様」を終えて。釧路市立博物館館報, 428: 5-6。

小田島賢・澤田恭平 (2022) 道東海岸線における遺跡分布についての経過報告 釧路町尻羽岬周辺の踏査報告及び厚岸町暁善寺採集資料。釧路市立博物館紀要, 40:1-4。
 〈貞國利夫〉
 Senzaki, M., Kitazawa, M., Sadakuni, T., Takahashi, M. (2020) Breeding evidence of the vulnerable Swinhoe's Rail (*Conturinicops exquisitus*) in Japan. The Wilson Journal of Ornithology 132 (3) : 711-717
 貞國利夫 (2021) 釧路湿原の鳥しらべ隊!。釧路市立博物館館報, 428: 8。
 貞國利夫 (2021) 夏休みこども自由研究応援隊 in イオンモール釧路昭和・イオン釧路店を実施しました。釧路市立博物館館報, 428: 10。
 貞國利夫 (2022) はたして「湿原の忍者」は浸透したのか?。釧路市立博物館館報, 429: 9-10。
 〈城石梨奈〉
 城石梨奈 (2022) 釧路市内小学校におけるアイヌ歴史文化学習の取り組み～博物館利用事例の検討～。釧路市立博物館紀要, 40: 5-14。
 城石梨奈 (2022) 昭和初期の北海道師範学校におけるアイヌ研究—札幌・函館・旭川の郷土研究資料の分析を中心に—。ESD・環境教育研究, 24: 1-12。北海道教育大学釧路校 ESD 推進センター。
 城石梨奈 (2022) 釧路市立博物館アイヌ文化映像展示コーナー「メナスクルミンタラ(道東アイヌの広場)」映像コンテンツ「釧路地域の歌と踊り」「釧路地域のサケ漁と料理の伝承」企画編集

6. 資料収集 収蔵資料状況 [新収蔵資料数] (2022年3月現在)

区分	2020年度までの累計	2021年度	合計
人文科学	48,616	65	48,681
自然科学	110,073	1,155	111,228
美術工芸	215	0	215
合計	158,904	1,220	160,124

7. 各種事業 〈企画展等〉

4月10日～6月27日	外来植物展 はるばるきたぜ道東へ	3,255
7月3日～10月3日	湿原の忍者 SHINOBI BIRD ～こっそり暮らすクイナたち～	6,964
10月9日～1月16日	紙面で振り返る戦後・釧路～釧路新聞創刊75周年～	5,933
12月18日～3月20日	釧路のまちと人～移り変わる風景とくらし～	3,830
1月22日～2月27日	私の博物館「昭和30年、北海道・鉄道の風景～竹中泰彦写真展～」	1,523
3月5日～4月10日	第27回タンチョウイラスト展	1,997

[ミニ展示]

- 4月17日～10月24日 収蔵資料ミニ展示「寄生蜂のふしぎな世界」
- 6月26日～2月27日 ミニ展示「根室本線100年・釧網本線90年」
- 10月30日～3月6日 収蔵資料ミニ展示「水に生きる植物」
- 11月3日～2月27日 収蔵資料ミニ展示「土器がつかない釧路へのみち」
- 1月22日～2月27日 写真ミニ展示「出区前・帰区後～SL冬の湿原号を支える人びと～」
- 3月12日～5月29日 新着資料ミニ展示「人面蛾～ヨーロッパメンガタズメが来るまでの道～」

[サテライト展示]

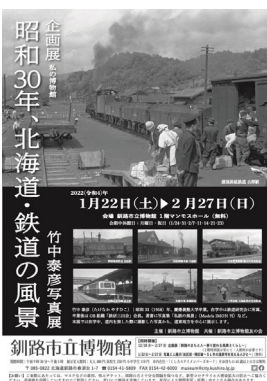
- 4月21日～5月28日 湿原の妖怪? ヤチボウズと釧路湿原のいきもの [イオンモール釧路昭和内郵便局]
- 7月28日～8月31日 まちなか企画展「くしろの文様」[MOO・わっと・こども遊学館・港文館]
- 9月30日～12月30日 道東の鉄道～国鉄釧路機関区・酒井豊隆の記録～ [釧路貝塚・釧路武佐・磯分内・弟子屈・美留和・イオンモール釧路昭和内の各郵便局・東釧路駅・摩周駅]
- 2月1日～3月21日 出区前・帰区後～SL冬の湿原号を支える人びと～ [イオンモール釧路昭和内郵便局]

[イオンモール釧路昭和のパネル展]

- 12月25日～1月30日 釧路のまちと人～移り変わる風景と暮らし～
- 2月2日～2月27日 冷たい海の大冒険～関勝則が写す北の海の生き物～
- 3月3日～4月3日 紙面で振り返る戦後・釧路～釧路新聞創刊75周年～

〈講演会〉(※事前申込・抽選 #事前申込・先着)

- 10月2日 「標本作りから見たクイナのお話」〈山階鳥類研究所 岩見 恭子 氏〉 #26
- 10月24日 友の会講演会「道東の自然を撮る 湖、川、海の水物語」〈水中カメラマン 関 勝則 氏〉 #46
- 1月15日 フロアトーク「釧路のまちと人～移り変わる風景と暮らし～」〈戸田〉 #6
- 3月12日 学芸員トーク「釧路の移り変わる風景と暮らし」〈戸田〉 #46



〈観察会・体験講座〉(※事前申込・抽選 #事前申込・先着)

4月17日・18日	展示解説「ようこそ釧路へ」	#39
4月18日～11月21日	春採湖畔探鳥会	151
計8回	(うち1回*中止・2回雨天中止)	
5月1日	竪穴住居で屋根ふき体験	13
5月3日～5日	博物館であそぼう「クイズラリー」	178
5月15日～9月18日	春採湖畔草花ウォッチング	135
計5回	(うち1回*中止)	
5月23日	アイヌ刺しゅう体験講座「小さいタペストリー作り」〈桃井 芳子 氏〉	※ 20
5月30日	初夏の探鳥会	32
6月12日～9月11日	しらべてみよう春採湖の昆虫	68
計4回	(うち1回*中止)	
6月13日・8月22日	歴史探訪会「まちなみ散歩」	51
7月10日	春採湖 汽水のいきもの観察会	#20
7月18日	歩いて見に行こう春採湖畔の史跡	12
7月24日	夏休み親子土器作り教室	#22
7月24日・25日	夏休み子ども自由研究応援隊 [イオンモール釧路昭和]	56
7月25日	クイナの声に耳を傾ける会	28
7月31日・8月7日	クワガタムシの樹脂封入標本づくり	※ 72
8月1日	化石クリーニング教室〈大山 昌一 氏・山代 淳一 氏〉	※ 20
8月8日	山の日にお供え山にのぼろう	75
8月9日	はじめての羽標本づくり	※ 15
9月5日	サクラマス産卵観察会	*中止
9月12日	竪穴まつり～北斗遺跡でむかし体験～	*中止
9月26日	第32回博物館まつり(友の会主催)	*中止
10月2日	こすって写す土器模様～カラー拓本体験～	20
10月3日	ミュージアム・コンサート(友の会主催)	#70
10月23日	ハーバリウム霧多布(植物標本作成)	9
	(NPO 法人霧多布湿原ナショナルトラスト主催・博物館共催)	
11月3日	黒曜石ナイフを使ってみよう	36
12月12日・26日・1月8日	冬の博物館まつり(友の会主催)	136
1月9日	まが玉をつくろう	#34
2月26日	冬のいきもの観察会	16

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

8. 新型コロナウイルス(COVID-19)感染症に対する博物館の対応(2021年4月～2022年3月)

・延期した行事

標本づくりからみたクイナのお話 8月28日→10月2日

ミュージアムミニコンサート 9月19日→10月3日

第32回博物館まつり(友の会主催) 9月26日→冬の博物館まつりとして12月・1月に分散開催

・中止した行事

サクラマス産卵観察会 9月5日

しらべてみよう春採湖の昆虫 9月11日

竪穴まつり～北斗遺跡でむかし体験～ 9月12日

春採湖畔草花ウォッチング 9月18日

春採湖畔探鳥会 9月19日

おそなえもちをつくろう(博物館・友の会主催) 12月末

フロアトーク「釧路のまちと人～移り変わる風景とくらし～」 2月6日・20日

・実施した感染対策等

手指消毒液の設置、ソーシャルディスタンスの表示、マスク着用をお願い、消毒・清掃・換気の実施、行事受付方法の変更、受付での検温の実施、来館者の緊急連絡先記入(生涯学習施設共通様式)

9. 博物館利用状況(月別入館者)

月	開館 日数	個人					団体					有料 入館者	無料 入館者	総数	外国人 入館者
		大人	高校生	小中 学生	55パ ス	計	大人	高校生	小中 学生	55パ ス	計				
4月	26	493	6	94	3	596	0	0	0	0	0	596	583	1,179	4
5月	27	675	15	128	2	820	18	0	0	0	18	838	668	1,506	0
6月	26	365	7	53	4	429	0	0	67	0	67	496	578	1,074	0
7月	27	890	27	126	7	1,050	91	4	32	0	127	1,177	1,342	2,519	19
8月	26	1,275	27	195	13	1,510	0	0	0	0	0	1,510	1,123	2,633	3
9月	26	779	10	98	16	903	18	0	0	0	18	921	749	1,670	4
10月	27	774	12	78	3	867	19	15	146	0	180	1,047	1,481	2,528	2
11月	24	680	10	97	4	791	25	0	0	0	25	816	1,035	1,851	0
12月	23	414	18	55	4	491	17	0	11	0	28	519	838	1,357	0
1月	23	548	9	50	2	609	0	39	20	0	59	668	582	1,250	5
2月	22	623	10	44	2	679	0	0	0	0	0	679	455	1,134	0
3月	26	748	17	92	0	857	0	0	0	0	0	857	689	1,546	18
合計	303	8,271	168	1,110	60	9,609	188	58	276	0	522	10,131	10,123	20,254	55
前年度比	33	1,249	25	351	△ 5	1,620	75	37	△ 369	0	△ 257	1,363	1,141	2,504	26

※『釧路市立博物館紀要』第39輯(2021年3月)掲載の下記論文につき、著者より訂正の申し出がありましたので、下記の通り正誤表を掲載いたします。(編集)

山内 雄大・川井 唯史(2021)「北海道東部におけるシグナルヒルミズ *Sathodrilus attenuatus* の出現状況」 正誤表

ページ	項目	誤	正
p58	図1の説明3行目	②イベシベシ川	②イベシベツ川
p59	8行目	…ザリガニに付着している ヒルミズ類は…	…ザリガニに付着している ヒルミズ類は…
p59	図3の説明3行目	BとCは0.25 μm	BとCは25 μm
p59	図4の説明3行目	BとCは2.0cm	Bは2.0cm